

1) 子ぶたは三つ子で、いつも3人だと話す。
2) 子ぶたの顔に玉を置き、「みっこの子ぶたにひたり台
うのはどれだろう」と、品物ごとに玉3個を1対1対応させ、
あったものが3だとし、手続きを繰り返す。
3) 数えるだけで分かって、玉の操作をさせること。

a) 玉が計数の伸立ちをする。すなわち推移律「 $A=B=C$ なら
A=C」の「B」の働きを玉が果たす。
b) 数の理解の基本的な原理である1対1対応と推移律を
「みっこの子ぶた」の形で体験する。
c) 和数詞「みっこの」の了解。

Date _____
Note _____
評 _____



たなをつかって
あうのをさがそう。

みっこのこぐまは
なんでも3つ。
ぴったりあうのは
どれだ？


